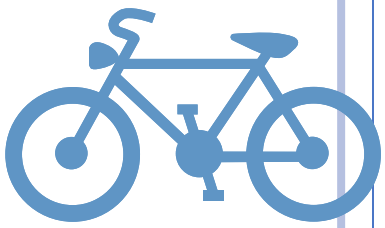
資料３－１

自転車活用推進計画の検討

１．課題の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２．計画目標の設定・・・・・・・・・・・・・・・８

令和７年３月２１日



１．課題の整理

市が取り組んでいる観光施策

- 魅力ある観光の振興として「古刹・深大寺」「映画のまち調布」「水木マンガが生まれた街 調布」などの地域資源を最大限に活用した取組を推進している。

【古刹・深大寺を核とした魅力の発信】

・深大寺だるま市や深大寺そばまつりなど古刹・深大寺を核とするイベント開催
・バラフェスタなど都立神代植物公園主催の各種イベント開催
・調布市観光ボランディアガイドの活動の支援

深大寺

【「映画のまち調布」の推進】

・フィルムコミッション事業の推進
・ロケツーリズムの推進
・世代に合わせた映画・映画関連イベントの実施
・映画・映像に関する地域資源を活用した「映画のまち調布」のPR

「花束みたいな恋をした」
ロケ地マップ

【「水木マンガが生まれた街 調布」の推進】

・関連企業等と連携した「ゲゲゲ忌」をはじめとする取組
・水木キャラクターを活用した「水木マンガの生まれた街 調布」の推進
・アニメコンテンツを活用したアニメ聖地としての取組

資料：調布市総合計画より作成

主な観光地

- 深大寺周辺や，映画関連施設，水木マンガに関連ある施設がGuidoor※のおすすめ観光コースとして紹介されている。

調布飛行場

味の素スタジアム

多摩川

深大寺

せんがわ劇場

野川

※（一財）デジタルスマートシティ推進財団が運営しているサイトで，自治体から提供された情報を多言語で発信し，コース(1) ～ (5) までが「調布市観光マップ」と同一内容で，(6) シェアサイクルで巡る調布観光コースがGuidoorのオリジナルコースとなっている

事故発生状況（分析結果）

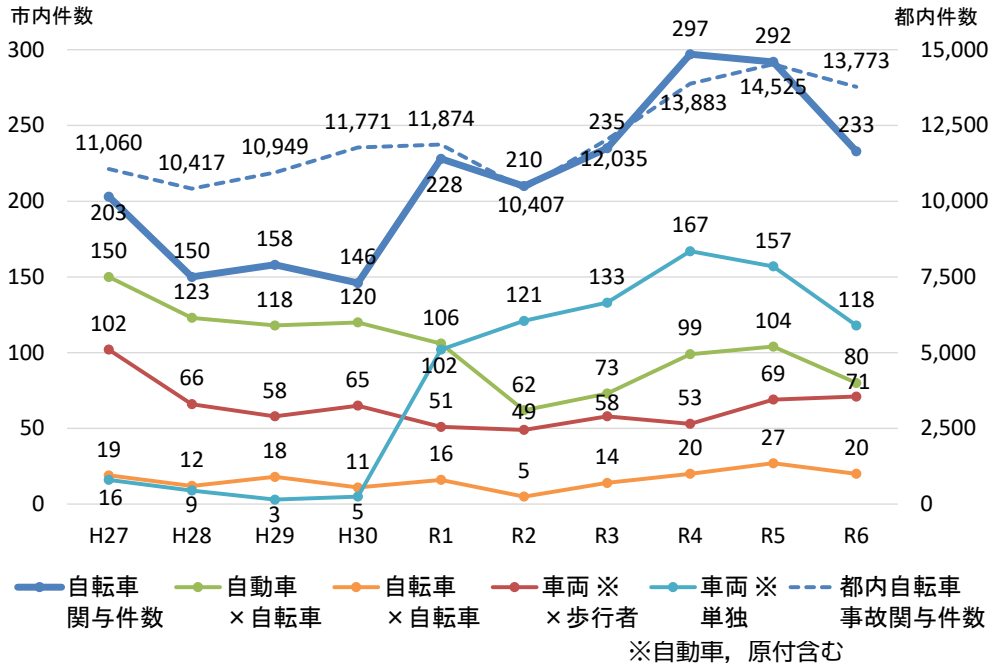
①自転車事故増加の理由

- 車両であるという認識が高まり，事故を起こしたら自動車と同じように通報するようになったと考えられる。最新の令和６年は減少に転じた。

②自転車通行空間での事故発生の理由

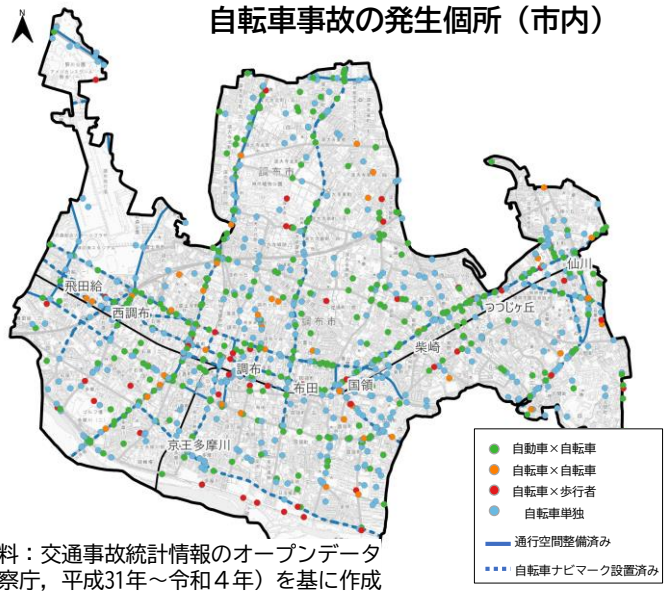
- 交通量が多い路線は事故件数も比例して多い傾向にあり，これまで幹線道路を優先的に整備してきたため，事故が多く発生しているように見える。
- 幹線道路以外でも事故が発生しており，出会頭の割合が高いことから，見通しの悪い生活道路で事故が発生しやすいと考えられる。

人身事故件数推移（破線以外は市内）



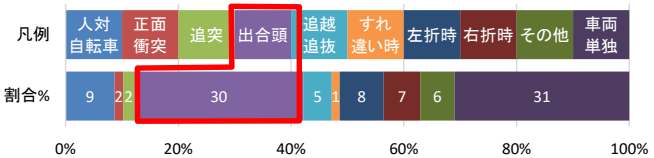
資料：区市町村別各種事故発生状況，交通事故統計表（警視庁，各年）より作成

自転車事故の発生個所（市内）



資料：交通事故統計情報のオープンデータ（警察庁，平成31年～令和４年）を基に作成

自転車事故類型別構成（令和６年 都内）



資料：自転車事故分析資料（警視庁）より作成

市の動向

- 調布市総合計画の１つの施策として「快適な公共交通環境の整備」を位置づけており，施策の成果向上を図るための基本的取組として，「地域公共交通計画」と「自転車活用推進計画」を策定することとしている。
- 「地域公共交通計画」の計画期間は令和８年度からを予定しており，「自転車活用推進計画」と開始時期が概ね同じになるため，交通の在り方について整合を図る。

基本目標７
地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために

地域ごとの特徴を生かした，快適で利便性に富み住み続けられるまち

22　良好な市街地の形成
●適正な土地利用の推進　●景観まちづくりの推進

23　地域特性を生かした都市空間の形成
●魅力的な中心市街地の形成
●地域特性を生かしたまちづくりの推進
●深大寺地区におけるまちづくり

24　良好な住環境づくり
●安全・安心な住環境づくり　●良好な居住環境の形成と支援
●空き家等対策の推進

誰もが安全で円滑に移動できる，交通環境が整ったまち

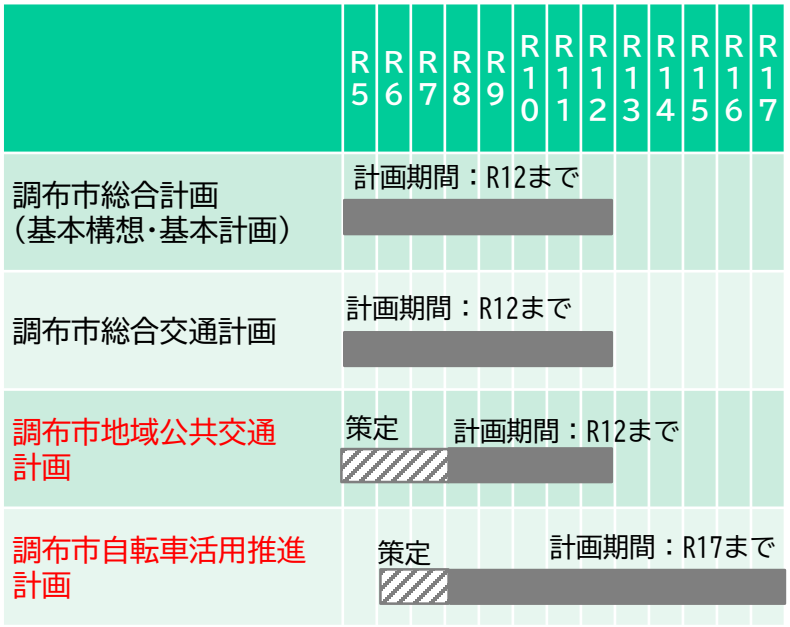
25　利便性の高い交通体系の確立
●円滑な道路ネットワークの形成　●都市交通の円滑化の推進
●人と環境にやさしい道路空間の整備
●道路施設等の総合的な管理の推進

26　快適な公共交通環境の整備
●公共交通ネットワークの形成
●交通安全対策の推進　●自転車利用の促進

資料：調布市総合計画より作成

施策の方向

将来の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークを形成するとともに，交通安全対策の推進，環境への負荷の少ない自転車利用の促進などを通じて，誰もが安心して移動できる快適な交通環境が整備されたまちづくりを進めます。



自転車に関する現状まとめ

- 説明の中で第１回検討会からの変更したことを伝える。

	現状
都市環境	・東西の移動軸として鉄道，南北の移動軸としては主にバス路線があり，交通手段を組み合わせることで市内の様々な場所へ移動が可能となる ・自転車通行空間の整備が進んでいるものの，自転車利用の多い施設まで空間が確保されていない場所もある ・自転車通行空間上に駐車する車両があり通行に支障がある ・地域により駐輪場の需給バランスにばらつきがある
健康	・通勤時の自転車利用者（シェアサイクル）が増えてきている
観光	・深大寺や多摩川など魅力的な観光資源があるものの，駅から離れている場所がある ・「GOODCYCLE JAPAN」にて東京多摩2020レガシーロードが選定され，調布市もコースの一部となっている
安全・安心	・自転車事故は増加傾向で，市内に万遍なく事故が発生している ・自転車の単独事故が増加傾向である ・自転車は災害時の移動代替手段として有効な場合と，道路が混雑して有効でない場合もある

課題

- 走行空間の創出や移動手段の確保
- 自転車移動の快適性の向上
- 駐車車両への対策
- 地域のニーズに応じた駐輪設備の確保
- 自転車通勤利用のニーズに応じた環境創出
- シェアサイクルなどの環境創出による観光客の移動ニーズの創出喚起
- 道路利用者の交通ルール遵守やマナーの向上
- 災害時の適切な活用

２．計画目標の設定

計画の構成

- 社会経済情勢，上位関連計画，市民ニーズを踏まえて，基本理念，計画目標，基本方針を設定する。

社会経済情勢

上位関連計画

市民ニーズ

①基本理念

市としての自転車活用の基本的な考え方を整理

②計画目標

自転車を活用することで目指す将来の在り方

③基本方針

計画目標を達成するための施策を実施するうえでの大きな指針

今回の検討部分

個別施策

基本方針を踏まえた具体の施策

①基本理念（案）

バス利用者減少（運転手不足）	観光資源への期待	ウォーカブルなまちづくり	駐輪利用のバランス変化	自転車に求める役割

本市の自転車利用に対する基本理念

自転車の利用促進

既存交通と連携の観点，代替手段の確保の観点，さらに社会経済情勢を踏まえた健康や観光といった新たな移動ニーズに対応するため，積極的に自転車利用を促す

自転車の適正利用

他の交通手段維持の観点，ニーズに応じた駐輪環境創出の観点，さらに社会経済情勢を踏まえたウォーカブルやライフスタイルの変化に対応するため，自転車利用の適正化を図る

②計画目標（案）

- 自転車を取り巻く環境，基本理念等を踏まえ，本市では国の推進計画の４つの目標を勘案して設定する。

課題

- 走行空間の創出や移動手段の確保
- 自転車移動の快適性の向上
- 駐車車両への対策
- 地域のニーズに応じた駐輪設備の確保
- 自転車通勤利用のニーズに応じた環境創出
- シェアサイクルなどの環境創出による観光客の移動ニーズの創出喚起
- 道路利用者の交通ルール遵守やマナーの向上
- 災害時の適切な活用

基本理念

利用促進　適正利用

計画目標

～都市環境～
様々な場面で自転車を快適に利用できる環境の創出

～健康～
自転車で外出していつまでも健康に過ごせる環境の創出

～観光～
自転車で市内の様々な場所に行って地域を活性化する環境の創出

～安全・安心～
歩行者や自動車と共存し，安全・安心に自転車を利用できる環境の創出

③基本方針（案）

- 設定した計画目標に対応して施策の基本方針を設定する。

計画目標	基本方針
都市環境 様々な場面で自転車を快適に利用できる環境の創出	• 安全で快適な自転車通行空間を計画的に創出 • エリアや利用シーンに合わせた利便性の高い駐輪環境を創出 • 公共交通を補完する移動手段としてシェアサイクル等の活用
健康 自転車で外出していつまでも健康に過ごせる環境の創出	• 日常的に自転車を利用しやすくする環境の整備 • 自転車の利用促進につながるイベント等の機会の創出
観光 自転車で市内の様々な場所に行って地域を活性化する環境の創出	• 市内を周遊できる自転車通行空間整備等によるサイクリング環境の整備 • 自転車で地域を巡る体験型・交流型観光の促進
安全・安心 歩行者や自動車と共存し，安全・安心に自転車を利用できる環境の創出	• 学校による交通安全教育の推進 • 自転車の安全利用の広報啓発 • 自転車の点検整備の促進